

3.【総会報告】

1999年度の総会は、1999年10月16日(土) 16時より東洋大学で開催された。細谷昂会長の挨拶ののち、議長に菅野正、吉沢四郎の両会員を選出した。

I、報告

時間の関係上、報告に先立ち、議題1の役員改選を行うこととし、選挙管理委員に徳川直人、大友由起子の両会員を選出した。

1、杉岡事務局長より下記の事業について報告があった。

(1) 理事会

| | | |
|-----|------------|----------|
| 第1回 | 1998.10.25 | 国立婦人教育会館 |
| 第2回 | 1998.12.19 | 慶応大学 |
| 第3回 | 1999.04.17 | 明治大学 |
| 第4回 | 1999.09.12 | 東洋大学 |
| 第5回 | 1999.10.15 | 東洋大学 |
| 第6回 | 1999.10.16 | 東洋大学 |

(2) 研究通信

| | |
|------|---------------|
| 194号 | 1999.01.20 発行 |
| 195号 | 1999.05.15 発行 |
| 196号 | 1999.09.20 発行 |

(3) 会員動向

99年10月8日現在

| | |
|-----|--------------------------|
| 会員数 | 409名(購読会員 6名含む) |
| 退会者 | 14名(うち逝去による退会2名) |
| 入会者 | 18名(院生会員8名、正会員9名、購読会員1名) |

2、各委員会報告

(1) 研究委員会

北原委員長より、2000年度のテーマセッションは「日本農業・農村の史的展開と転機に立つ農政」(座長 大川健嗣会員)に決定した旨の報告があった。

なお、2001年度については蘭会員よりテーマの提案がなされているが、他に希望者があれば申し込むこと、さらに02年度の50回記念大会も考慮に入りたい旨の発言があった。

地区大会については、関東地区のガブリオ・マリ会員より関東地区の3回の地区大会(98.11.07 早大、99.07.10 早大、99.09.18 東洋大)について報告があった。

(2) 編集委員会

- 1) 小林一穂委員長より、『年報第35号』が本日発刊されたとの報告があった。
- 2) 大内雅利委員長より『ジャーナル10号』(3月刊)、『同11号』(9月刊)について報告があった。さらに、印刷費の現状の詳細な報告と、今後、①会員の

積極的な投稿、②出版社よりの広告の獲得、に努力してほしい旨の発言があった。

(3) 国際交流委員会

鳥越委員長より、ブラジルで来年の7月に開催されるIRSAの世界大会への派遣者1名を、会長・副会長と相談のうえ決定したいとの報告があった。

(4) 学会賞選考委員会

安孫子委員長より、今年度の学会奨励賞の選考の結果、下記の2つに決定した旨の報告があった。

庄司俊作『日本農地改革史研究』1999年2月刊

高橋基泰『村の相伝（近代英国編）—親族構造・相続慣行・世代継承—』

1999年2月刊

(5) 99年度会計報告

会計担当の小内会員より、99年度の決算報告（今年度より「一般会計」と「特別会計」に分離）と学会財政の運用の諸問題について報告があった後、会計監査の内田会員より監査の結果適正な運用がなされている、との報告があった。（資料1参照）

(6) その他

大川会員より来年度のテーマセッションについて補足説明があった。

3、議 題

(1) IRSA招致の立候補について

1) IRSA特別委員会

磯辺特別委員長代理より説明

2) 理事会

理事会案(資料2参照)を杉岡事務局長より報告ののち、細谷会長より補足説明があった。

これらの報告と配付資料に基づいて討議のうえ投票を行い、原案どおり可決された。

| | | |
|----|------|-----|
| 結果 | 投票総数 | 79票 |
| | 賛成 | 57票 |
| | 反対 | 8票 |
| | 棄権 | 14票 |

(2) 2000年度の事業計画・予算について

杉岡事務局長より、2000年度も従来の研究活動を継承していきたいとの報告があった。これをうけて、会計担当の小内会員より収支の厳しい現状を考え、学会費の値上げ（一般会員2,000円、学生会員1,000円）に踏み切らざるをえないとの説明があった。

値上げ案が承認されたのち、提案どおり2000年度予算は承認された（資料1参照）。

(3) 学会賞の運用規則改正について

安孫子会員より、研究奨励賞を「単行書部門（40歳代まで）」と「論文部門（40歳前後まで）」の二種とすることを骨子とする改正案の提案があり、原案どおり可決された。なお、年齢制限については、生涯教育の普及なども考慮して、今後さらに検討することとなった。（資料3参照）

(4) 2,000年度 学会事務局の運営について

細谷会長より、学会事務局は米沢和彦会員（熊本県立大学）を事務局長とし、熊本の会員（徳野貞雄、古賀倫嗣両会員）で構成していきたいとの提案があり、了承された。

(5) 2,000年度の 大会開催地・事務局について

細谷会長より、大会開催地は愛媛県で、事務局は愛媛大学の中道仁美会員を中心をお願いしたいとの提案があり、了承された。